特定非営利活動法人

生徒会活動振興会

第7期（2026年度前期）事業報告書

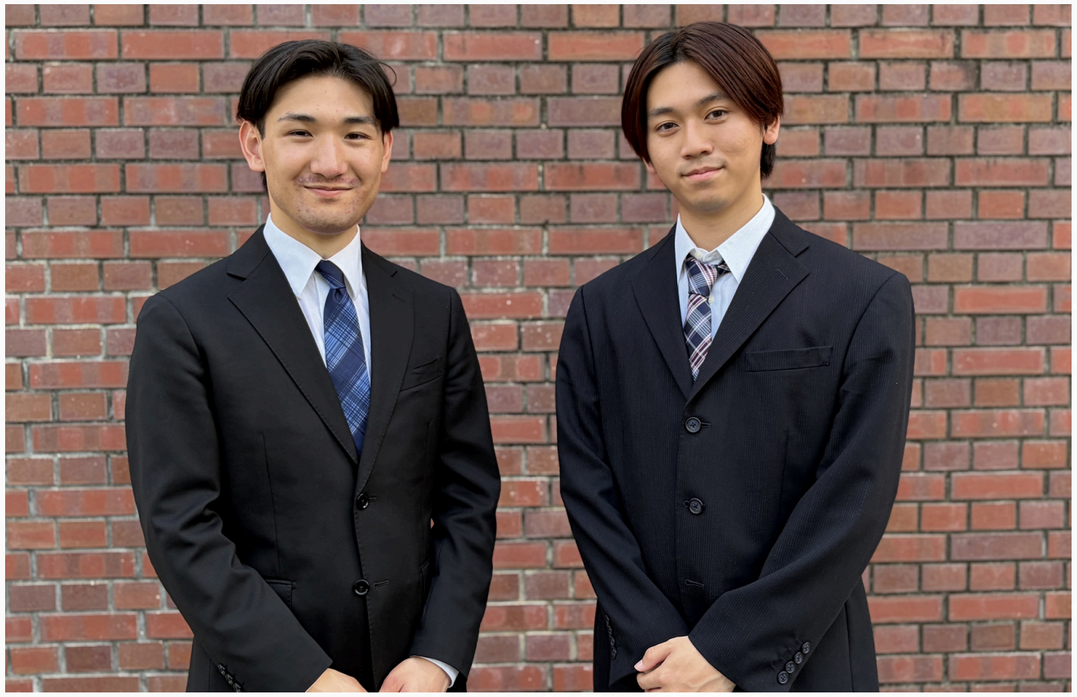
特定非営利活動法人生徒会活動振興会

MESSAGE FROM THE CHAIRMAN

理事長挨拶

受け継いだ経験を力に、持続的な成長へ

提供価値のさらなる向上に向け、
団体の持続的な成長を目指してまいります。



平素より、NPO法人 生徒会活動振興会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
当法人は、生徒会活動を通じた人材育成を目指し、生徒会組織や生徒会役員、顧問の先生方への支援等を行ってまいりました。多くの方々とのつながりに支えられながら、私たちの活動も少しずつ広がり、団体として新たな段階を迎えています。
新しい期を迎えるにあたり、私たちが大切にしたいのは、活動の規模を広げることだけではなく、これまで取り組んできた一つひとつの活動を、より充実したものへと発展させていくことです。
支援を必要とする生徒会や学校の声に耳を傾け、それぞれの状況や課題に応じた支援を届けることで、支援先団体のさらなる成長につなげていきたいと考えています。



また、一つの学校や地域での取り組みにとどまらず、生徒会同士が学び合い、繋がり、互いの経験を共有できる環境をつくることも重要です。生徒会活動の可能性を広げ、一人ひとりの生徒が主体的に考え、行動できる機会を増やしていくことが、日本の生徒会全体の発展につながると信じています。

団体の成長に伴い、私たちに求められる役割と責任も大きくなっています。これまで築いてきたつながりと経験を大切にしながら、現状に満足することなく、必要とされる支援のあり方を追求し続けてまいります。

今後とも、皆様とともに生徒会活動の未来を切り拓いていけるよう、役職員一同、力を尽くしてまいります。
引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長　針尾勇輝

2026年10月30日

WELCOME ADDRESS FROM THE NEW CHAIRMAN

役員紹介

戦略的な役員人事の更新で、長期的目線から提供価値の向上を狙う

理事会は2025年度以来、長期的な目線から安定的な運営と提供価値の向上を目指し役員人事の更新を進めてきました。この結果、今期9月には2名の理事の単純増員も行い、7名体制で活動を推進しています。第7期終了時点で既に安定的な運営という第一の目標は達成したとの認識の下、来期はさらなる提供価値の向上に向け事業管理力の向上及び外部連携の強化を目指し、様々な施策を総合的に組み合わせながら活動を進めます。

理事



理事長
針尾 勇輝
Yuki Hario

加入 2025.4
理事就任 2025.12
担当分野
広報/甲子園/外部連携



副理事長・事務局長
阿部 亮太
Ryota Abe

加入 2023.4
理事就任 2023.4
担当分野
選抜育成/法務/会計



理事
門田 裕太郎
Yutaro Kadota

加入 2024.3
理事就任 2026.4
担当分野
営業/団体戦略/
/地域連携/学校支援



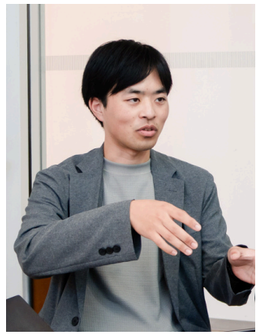
理事
小栗 秀貴
Hideki Oguri

加入 2025.1
理事就任 2025.5
担当分野
情報技術/編集



理事
浅井 俊宇
Asai Shunu

加入 2025.4
理事就任 2025.12
担当分野
人事



理事
福澤 史琉
Shiryu Fukuzawa

加入 2026.3
理事就任 2026.9
担当分野
団体戦略/外部連携



理事
須賀真都
Manato Suga

加入 2025.3
理事就任 2025.12
担当分野
交流推進

監事



監事
田口 壱星
Issei Taguchi

加入 2023.4
監事就任 2025.5
担当分野
監査全般

法人設立日以前に代表等を務めていた場合は、当該役職への就任日を『理事就任』として記載。
10月15日時点の情報。

VALUE CREATION MODEL

価値創造モデル

生徒会活動振興会が目指すのは、生徒一人ひとりが主体性を発揮し、学校や地域、社会の未来を創造できる環境の実現です。全国の生徒会ネットワークや多様な連携を基盤に、人材・知識・関係性といった資本を最大限に活用して多角的な事業を推進することにより、生徒会と社会の新たな関係価値を創出していきます。

Mission

生徒会を通じた人材育成のため、
情報伝達システムを変革する

価値創造の基盤

人的資本
全国各地から集まる現役生徒会役員の中高生やOB・OGの大学生

知的資本
メンバーの持つ生徒会経験と、多角的な事業からくる豊富な知見

社会関係資本
豊富な支援先団体や自治体、教育委員会、学校との連携関係

財務資本
企業様からの協賛金や各種会員の寄付による安定的な財務基盤

価値創造戦略

記事執筆
団体支援
生徒会甲子園
生徒会分野における日本最大、唯一のNPO法人
学校支援
外部環境構築

重要課題
- 内部基盤の強化
- 外部連携の強化
- 事業の質・量の向上

関係価値の創造

生徒会と学校、社会の新しい関係価値を生み出し未来を創造する

社会価値 × 経済価値

・学校生活の向上につながる生徒会活動の推進
・主体的な社会課題解決人材の育成

創りたい社会

Vision

地域/全国の2層の交流網を構築する

2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告-総括

全事業、とりわけ団体支援の拡大により全国生徒会への提供価値の向上が続く

2026年度前期は地域コミュニティ（地域生徒会団体）に対する支援事業や学校伴走支援事業、また生徒会甲子園事業、編集事業等の各領域において、活動の拡大や深化、外部連携の強化が進みました。

団体支援事業においては支援先団体数の拡大が続き、今期開始時点で5団体だった支援先は11団体を数えるまでになりました。また、支援先である東京都公立校生徒会連盟と共同で東京都教育庁への提言も実現したほか、学生団体UNITYと共催で中間市/中間市教育委員会後援のもとで生徒会交流会も実施するなど、生徒会外務環境と社会を繋げるために活動を推進しています。支援先団体の拡大による支援能力の逼迫に対応するため、後期は組織体制を改革しさらなる提供価値の強化に向け歩みを進めます。

学校伴走支援では相馬市立向陽中学校への支援を引き続き実施し、より生徒会自体が主体的に活動を行うことのできるよう指導を提供しました。また、当会内部において従来の課題となっていた省力化を実現するとともに、より効果的な研修の在り方を実現するために徹底的な課題解決を行いました。また、学校伴走支援事業や団体支援事業において蓄積した知見を活かし、単発型の研修についても実施に向け準備が進んでいます。

編集事業においては、「さらなる質の向上」に向け取材活動を再開、これにより質と量の両立を狙いました。今後はさらなる「執筆記事数の増加」を目指し、各種既存事業との連携を推進するとともにAIの導入を進めることで徹底的な効率化を実現します。

生徒会甲子園事業は2025年度が初めて実施となりましたが、多くの参加者が先進事例を持ち寄り競い合うことで先進事例の拡大に努めました。2026年度は2027年1月に開催することを目標とし、昨年度の反省も踏まえた準備を進めてまいります。

活動基盤の強化・省力化も進む

当会の活動の基盤となる法務、情報技術、財務、広報、人事等の強化や省力化も進んできました。情報技術分野や財務分野等の重点分野の強化に向けた体制を強化するとともに、法務分野や広報分野ではさらなる省力化に向け活動を進めました。

















2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告

community

首都圏生徒会連盟支援事業

交流会の開催や団体運営に関する包括的な支援を提供

首都圏生徒会連盟

首都圏生徒会連盟は、2005年に活動を開始した歴史ある団体です。新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止していましたが、2025年4月に再始動し、弊会も同時期より支援を開始いたしました。
2026年5月には、東京都公立校生徒会連盟との合同の「春季交流会」を開催しました。また、同年8月には「学習指導要領を基に生徒会の在り方を考える」をテーマに「夏季交流会」を開催しました。いずれも約40名が参加し、首都圏の生徒会同士のつながりを広げる機会となりました。今後は、外部との連携を一層強化し、企業や行政など、多様な主体との関わりを通じて学びを深められる生徒会交流会の開催を目指してまいります。
また、歴史ある首都圏生徒会連盟の活動を将来にわたって継続・発展させるため、運営体制の整備にも取り組んでいます。人事・広報・地域統括・事業・外部連携などの部門を設け、役割を明確化することで、持続可能な組織運営を目指しています。
弊会は、今後も首都圏生徒会連盟のさらなる発展に向けて支援を推進してまいります。





community

東京都公立校生徒会連盟支援事業

東京の公立校の生徒会活動促進に関する包括的な支援を提供

東京都公立校生徒会連盟

「私立高校の先進的な情報が都立高校で活きにくい」
「公立校同士の連携が弱い」という課題を受け、2026年1月に首都圏生徒会連盟の都立高メンバーによって「東京都公立校生徒会連盟（都公連）」が設立されました。当会では設立当初から組織設計や運営体制の確保など、伴走支援を続けています。
2026年5月の「首都圏春季生徒会交流会」の企画支援に続き、同年7月には都公連が東京都教育庁へ都主導の生徒会交流事業に関する提言書を手交する際にも、行政との仲介や各種実務等の支援を実施いたしました。
都内の生徒会団体において行政と直接連携を図る試みは先進的であり、全国の生徒会活動における新たなモデルケースとなっています。当会は今後も戦略的な外部連携を推し進め、公立校生徒会活動の持続的な発展に貢献してまいります。



2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告

community

福岡生徒会連盟支援事業

日本最大規模の地域交流会の開催に向け、徹底的な支援を実施

福岡生徒会連盟は2024年12月に設立された団体です。比較的新しい団体ではありますが、その交流会の参加者数は2026年度を通して全国で最大です。
生徒会交流をさらに活発にするべく、オンライン、オフラインにおける交流会の企画、運営を学校等と協力し実施しています。2026年度前期には、福岡県福岡市の東福岡高等学校の生徒会執行部と協力し、福岡県内の生徒会交流をさらに活発にするべく、オンライン、オフラインにおける複数回の交流会を実施しました。2026年7月に東福岡高校において「福岡生徒会交流会」を例年通り開催し、22校215名の参加の下交流を推進するとともに、「高校生の時間」というテレビ番組との企画も開催し、生徒・教員両方の意識改善を目指しました。また、オンライン交流会を実施しています。以上のような活動の中で、弊会は全面的な伴走支援を実施し、企画内容やzoom等の提供を実施しています。
現在は、代替わりが行われ、第3期の新幹部陣が協力しながら福岡の生徒会の発展を目指し、日々活動しています。
今後も支援を継続してまいります。





community

学生団体UNITY支援事業

新たな生徒会交流会の開催
学生×行政×地域 進化する生徒会交流会

学生団体UNITYは、中間市の生徒会活動の活性化と、中高生が学校の枠を越えて交流できる機会の創出を目的に、2026年8月21日に「第1回中間市生徒会交流会」を開催しました。

本交流会には20名が参加し、中間市および中間市教育委員会の後援を受け、実施しました。交流会では、各校の生徒会役員が集まり、生徒会活動について理解を深めるとともに、学校ごとの課題や取り組みについて意見を交わしました。また、学校の枠を越えたつながりを生み出し、生徒会活動のさらなる発展につながる機会となりました。中間市教育委員会・北九州教育委員会の方に交流会を視察していただきました。第2回の交流会開催に向けて今後動いていく予定です。

今後も、中間市における生徒会活動の活性化と、若者が地域や学校をより良くするために行動できる環境づくりに向けて、継続的に支援してまいります。



学生団体
UNITY
やってみようから、まちが変わる。

やってみようから、まちが変わる。

若者の「やってみよう」が、まちを動かす力になる。
そんな思いから、私たちは2025年、
地域に新しいチャレンジを届ける
プロジェクトをスタートしました。

2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告

community

いしかわ生徒会交流会支援事業

新設された団体への包括的な支援

いしかわ生徒会交流会は、2026年3月に設立された新しい団体です。石川県内の各校の生徒会活動を推進するため、交流会だけではなく様々な企画を推進しています。弊会は2026年3月の設立以来、運営支援を行ってまいりました。
交流会の企画・運営に関する支援に加え、団体運営全般に関する包括的なサポートを行い、活動の安定化や継続的な運営に向けて取り組んできました。また、運営体制の整備や広報活動に関する支援なども行い、団体としてより円滑に活動できる環境づくりに努めてきました。
設立間もない団体ならではの課題や変化もある中で、関係者の皆様と連携しながら、一つひとつ課題に向き合い、交流会の発展に向けた支援を続けてきました。
弊会としても、こうした支援を通して、いしかわ生徒会交流会の活動や今後の発展に少しでも力となることができていれば嬉しく思います。





community

その他団体支援事業

主体的な生徒会の構築に向け、1年スパンでの研修を提供

相馬市立向陽中学校は、福島県相馬地域に所在する公立中学校です。生徒会顧問の先生から弊会にご連絡をいただき、2025年度前期より「生徒会アドバイザー」として、週1回の研修を通じ生徒会執行部に対する伴走支援を行ってまいりました。
2024年度の活動時は教員主導での活動が中心となっており、生徒会役員が主体的に動く機会が少ないという課題があったことから、弊会では生徒会の活動するテーマ（例：いじめ根絶集会や全校レクリエーション、向陽中サミット、学力向上等）の進捗状況に合わせながら、顧問の先生と連携しプロジェクト実施手法に関する研修の実施しました。
2025年度前期には研修的な講義を中心に行いながら活動の基礎となる考え方、各種手法等の力をつけ、後期はより自由度の高い運営にすることで生徒会役員の主体性をさらに引き出すことのできるよう、工夫を凝らした研修設計を行い、主体的に活動する生徒会が実現しました。
なお、以上のような取り組みの結果、福島県いじめ防止ラウンドテーブルや令和7年度全国いじめ問題子どもサミットにも招待され、代表生徒が参加して発表等を行いました。





2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告

community

選抜育成事業

FCS(Future Change Students)を企画し、参加者の持つ課題の解決及び視座の向上に専念

Future Change Studentsは、2026年8月から始動した新事業です。
現在、生徒会や生徒会外務環境には「変革を行った人の可視化は出来ている一方で、これから行う人もしくは現在進行形で行っている人の可視化が出来ていない」、「研修の場が不足している」などの課題があります。そこで、これらの課題を解決するため参加者の持つ生徒会や生徒会外務環境への課題の解決や生徒会に対する視座の向上を目的として活動しております。
今季の活動としましては9月から第一期の活動が始まっており現在進行形で第一期の活動を進めております。
活動内容としましては毎週火曜日の21時から講座を行う、参加者の方と1on1を実施する等があり、講座では計画を立てる上で大切な考え方であるプロジェクト実施手法や生徒会は現状どんな状況で今後どのように動けばいいのか等のお話をしていただいております。
講師は外部の方をお招きすることもおり、これまでにも東京都議会議員や筑波大学准教授、生徒会活動支援協会理事長などの多方面の方をお招きしお話をしていただきました。

FUTURE CHANGE STUDENTS 2026
日本の生徒会を変える20人

community

相馬市立向陽中学校支援事業

主体的な生徒会の構築に向け、1年スパンでの研修を提供

相馬市立向陽中学校は、福島県相馬地域に所在する公立中学校です。生徒会顧問の先生から弊会にご連絡をいただき、2025年度前期より「生徒会アドバイザー」として、週1回の研修を通じ生徒会執行部に対する伴走支援を行ってまいりました。
2024年度の活動時は教員主導での活動が中心となっており、生徒会役員が主体的に動く機会が少ないという課題があったことから、弊会では2025年4月より生徒会の活動するテーマ（例：いじめ根絶集会や全校レクリエーション、向陽中サミット、学力向上等）の進捗状況に合わせながら、顧問の先生と連携しプロジェクト実施手法に関する研修を実施しました。
この結果向陽中学校生徒会は主体的に行動する生徒会と変革されたことから、2026年度は「主体的な生徒会を継続させる」ということを目指し、引き続き支援を実施しています。
前期は弊会より各種プロジェクト実施手法に関連する手法等について研修を行いましたが、後期にはさらに生徒たちが考える範囲を拡大させ、しっかりと定着するように準備を進めていきます。





2025 SECOND HALF ACTIVITY REPORT

2025年度後期活動報告

contents

編集事業

記事の公開を通して
全国の生徒会団体や生徒会の活動の事例や手法を共有

編集事業では、全国の学校の生徒会活動やイベントに関する記事を作成することで、他の生徒会団体や全国の生徒会役員の皆様に向けた情報発信を行ってきました。
各団体の取り組みや活動内容を発信することで、生徒会活動に関わる方々が新たな事例や考え方に触れられる機会をつくり、これから先の生徒会の刺激となったり、視野を広げられたりする活動をしてきました。
また、オンライン取材を通して生徒会役員との交流も実施しました。
記事制作にあたっては、正確で分かりやすい情報発信を心がけながら、読者の皆様にとって価値のある内容を継続的に届けられるよう努めてきました。
これらの活動を通して、全国の生徒会活動の魅力や各団体の取り組みを広く発信し、生徒会活動の発展に少しでも貢献できるよう活動してきました。





contents

生徒会甲子園事業

編集事業では拾えない先進事例を
コンペティション企画で拾い、全国に届ける

生徒会甲子園は、各校の生徒会役員がそれぞれの活動事例を持ち寄り、発表を行うコンペティションです。
従来の編集事業では、弊会側があらかじめ先進事例を把握していなければ取材につなげることが難しいという課題がありました。しかし、生徒会甲子園を開催したことで、これまで発見することのできなかった新たな活動事例や取り組みに触れることができ、それらを広く発信する機会につなげることができました。
第一回となる今回は、2025年11月27日に渋谷区地域交流センター本町にて開催し、一次選考を通過した学校の生徒会役員の中から、4校がプレゼンテーションを行いました。
一次選考を通過した参加者の皆様には、それぞれの学校や団体で行っている特色ある取り組みについて発表していただき、多くの参加者にとって新たな学びや刺激を得られる場となりました。
また、参加者同士の交流や意見交換を通して、地域や学校の枠を越えたつながりが生まれ、生徒会活動に関する情報共有の場としても大きな意義のあるものとなりました。





LIST OF RELATED ORGANIZATIONS

関係団体一覧

当会は団体支援事業の開始以来、関係団体の思いを形にするため、多くの団体の設立や運営に携わってきました。今現在支援している5つの団体のうち4つは設立から携わり、残る1つの団体も団体の活動再開時から携わっています。今後も多くの人々の思いが詰まった各団体に対し徹底的に支援を行うことで、全国における生徒会外務環境の向上に努めてまいります。また、同時に学校伴走支援にも力を入れています。高校生、大学生が顧問の先生と協力し、伴走支援を提供しています。

生徒会活動振興会

団体名	特定非営利活動法人 生徒会活動振興会
活動地域	日本全国
設立	2023年4月
法人格取得	2024年11月
理事長	針尾 勇輝
運営数	40人
お問い合わせ先	contact@seitokaishinko.org

東京都公立校生徒会連盟

団体名	東京都公立校生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	東京都
設立	2026年1月
関係開始	2026年1月（設立時）
代表	片岡 優哉
運営数	10人
お問い合わせ先	tokourenseitokai@gmail.com

未来コネクトAichi

団体名	未来コネクトAichi
関係枠組み	伴走支援
活動地域	愛知県
設立	2026年6月
関係開始	2026年6月（設立時）
校長	金原 廣門
生徒会役員数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

生徒会団体代表者会議

団体名	設立準備委員会
関係枠組み	設立支援（人員派遣）
活動地域	全国
設立	2026年6月
関係開始	2026年6月（設立時）
代表	未設置
運営数	10人
お問い合わせ先	contact@seitokaishinko.org

福岡生徒会連盟

団体名	福岡生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	福岡県
設立	2024年12月
関係開始	2024年12月（設立時）
代表	井上 葉月
運営数	20人
お問い合わせ先	Instagram DM

いしかわ生徒会交流会

団体名	いしかわ生徒会交流会
関係枠組み	伴走支援
活動地域	活動地域
設立	2026年3月
関係開始	2026年3月（設立時）
代表	堀田大雅
運営数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

千葉県生徒会連盟

団体名	千葉県生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	千葉県
設立	2022年1月
関係開始	2026年6月（活動再開時）
校長	須賀 真都
生徒会役員数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

Education Network in Sophia

団体名	上智大学公認サークルENS
関係枠組み	総合連携
活動地域	上智大学
設立	2025年10月
関係開始	2025年10月（設立時）
代表	大河原 蒼央
運営数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

首都圏生徒会連盟

団体名	首都圏生徒会連盟
関係枠組み	支援先
活動地域	首都圏（1都3県）
設立	2005年4月
関係開始	2025年4月（活動再開時）
代表	高橋 萌生
運営数	20人
お問い合わせ先	lsccc2005@gmail.com

学生団体UNITY

団体名	学生団体UNITY
関係枠組み	伴走支援
活動地域	福岡県中間市
設立	2025年9月
関係開始	2025年9月（設立時）
代表	針尾 勇輝
運営数	17人
お問い合わせ先	Instagram DM

富山県生徒会連盟

団体名	富山県生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	富山県
設立	2026年7月
関係開始	2025年7月
代表	鷺岡 煌大
運営数	10人
お問い合わせ先	代表連絡先

相馬市立向陽中学校

団体名	相馬市立向陽中学校
関係枠組み	伴走支援
活動地域	相馬市
設立	1962年3月
関係開始	2025年4月
代表	武口 隆行
運営数	10人
お問い合わせ先	代表連絡先

LIST OF RELATED ORGANIZATIONS

関係団体一覧（1）

当会は団体支援事業の開始以来、関係団体の思いを形にするため、多くの団体の設立や運営に携わってきました。今期開始時には5団体1校だった支援先は11団体1校に倍増、その他各校生徒会に対する単発の研修支援等も開始し、本一覧には出ていないものの複数の事業に繋がっています。今後も多くの人々の思いが詰まった各団体に対し徹底的に支援を行うことで、全国における生徒会外務環境の向上に努めてまいります。

生徒会活動振興会

団体名	特定非営利活動法人 生徒会活動振興会
活動地域	日本全国
設立	2023年4月
法人格取得	2024年11月
理事長	針尾 勇輝
運営数	40人
お問い合わせ先	contact@seitokaishinko.org

東京都公立校生徒会連盟

団体名	東京都公立校生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	東京都
設立	2026年1月
関係開始	2026年1月（設立時）
代表	片岡 優哉
運営数	10人
お問い合わせ先	tokourenseitokai@gmail.com

未来コネクトAichi

団体名	未来コネクトAichi
関係枠組み	伴走支援
活動地域	愛知県
設立	2026年6月
関係開始	2026年6月（設立時）
校長	金原 廣門
生徒会役員数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

神奈川生徒会連合

団体名	神奈川生徒会連合
関係枠組み	伴走支援
活動地域	神奈川県
設立	2026年10月
関係開始	2026年10月（設立時）
代表	高野怜央
運営数	10人
お問い合わせ先	代表連絡先

福岡生徒会連盟

団体名	福岡生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	福岡県
設立	2024年12月
関係開始	2024年12月（設立時）
代表	井上 葉月
運営数	20人
お問い合わせ先	Instagram DM

いしかわ生徒会交流会

団体名	いしかわ生徒会交流会
関係枠組み	伴走支援
活動地域	活動地域
設立	2026年3月
関係開始	2026年3月（設立時）
代表	堀田大雅
運営数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

千葉県生徒会連盟

団体名	千葉県生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	千葉県
設立	2022年1月
関係開始	2026年6月（活動再開時）
校長	須賀 真都
生徒会役員数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

和歌山生徒会交流会（仮）

団体名	和歌山生徒会交流会（仮）
関係枠組み	伴走支援
活動地域	和歌山県
設立	2026年12月（仮）
関係開始	2026年12月（仮）
代表	未定
運営数	0名
お問い合わせ先	代表連絡先

首都圏生徒会連盟

団体名	首都圏生徒会連盟
関係枠組み	支援先
活動地域	首都圏（1都3県）
設立	2005年4月
関係開始	2025年4月（活動再開時）
代表	高橋 萌生
運営数	20人
お問い合わせ先	lsccc2005@gmail.com

学生団体UNITY

団体名	学生団体UNITY
関係枠組み	伴走支援
活動地域	福岡県中間市
設立	2025年9月
関係開始	2025年9月（設立時）
代表	針尾 勇輝
運営数	17人
お問い合わせ先	Instagram DM

富山県生徒会連盟

団体名	富山県生徒会連盟
関係枠組み	伴走支援
活動地域	富山県
設立	2026年7月
関係開始	2025年7月
代表	鷲岡 煌大
運営数	10人
お問い合わせ先	代表連絡先

相馬市立向陽中学校

団体名	相馬市立向陽中学校
関係枠組み	伴走支援
活動地域	相馬市
設立	1962年3月
関係開始	2025年4月
代表	武口 隆行
運営数	10人
お問い合わせ先	代表連絡先

2026年10月31日現在
継続的な関係性がある団体/学校のみを記載
運営陣の人数は10名単位で四捨五入

LIST OF RELATED ORGANIZATIONS

関係団体一覧（2）

当会は団体支援事業の開始以来、関係団体の思いを形にするため、多くの団体の設立や運営に携わってきました。今期開始時には5団体1校だった支援先は11団体1校に倍増、その他各校生徒会に対する単発の研修支援等も開始し、本一覧には出ていないものの複数の事業に繋がっています。今後も多くの人々の思いが詰まった各団体に対し徹底的に支援を行うことで、全国における生徒会外務環境の向上に努めてまいります。

Education Network in Sophia

団体名	上智大学公認サークルENS
関係枠組み	総合連携
活動地域	上智大学
設立	2025年10月
関係開始	2025年10月（設立時）
代表	大河原 蒼央
運営数	10人
お問い合わせ先	Instagram DM

2026年10月31日現在
継続的な関係性がある団体/学校のみを記載
運営陣の人数は10名単位で四捨五入